



寝屋川の学校給食では、栄養士と現場の調理員が「調理方法の研究・実践」を行い、アレルギー食をはじめ、安全で美味しい給食をつくつてきました。また、「どの献立を子どもが喜んで食べたか」などの情報を交換



中学校給食の改善については、3月議会では「自校調理方式、親子調理法式、センター方式などを視野に検討する」との答弁でした。

保護者・関係者と行政が手を取り合って、暖かい中学校給食の実現に頑張ることが求められます。

暖かい中学校給食へ 市民と行政が一緒に

6日、「寝屋川・子どもたちの給食をよくする会(代表世話人・門本佐和子氏)」が寝屋川市議会に要望書を提出しました。要望書の(1)では、小学校給食の調理業務は、民間委託でなく、自校直営で行うよう求めていました。市内24小学校の内12校の自校直営校と、残りの民間調理業務委託

「ミーティング」や 調理の研究が必要

の12校は、メニューや調理方法、材料の仕入れについては、統一されています。

しかし、給食調理では、「野菜の切り方」から始まって「揚げ物の揚げ具合」など微妙な技術が必要だとされ

ています。民間委託業者では、安全・安心が第1に強調されるので、煮すぎて歯ごたえがないような煮物や、揚げ過ぎて硬くなつた揚げ物がでてくることがあるとのことです。

する交流の場を設けて、改善を図つてきました。一方、民間業者の職員はパート職員が中心なので、時間をかけての交流が減つていることがあります。

懇談では、直営校でこれまで、積み重ねてきた調理技術が、今後も発展させていくのか、このままでは不安があることでした。

としては(2)教育の観点から全学校に、栄養教諭を配置すること。(3)直営校に「炊飯器」や「コンベーシヨンオーブン」などを導入すること。(4)食器の改善とランチルームの充実をはかること。(5)地域の農産物の給食材料への購入拡充など、10項目が記載されています。

調理員と共に さらに学校給食の発展を

給食をよくする会が要望書提出 議員団と懇談

小学3年生で 35人以下学級が実現

小3での35人学級実施で
クラス数が増えた7小学校

第5小・中央小・成美小・北小
啓明小・神田小・和光小

今年4月から、本市の小学校3年生で「35人学級」が実現しました。市内24校のうち、7校(上表を参照)に市単独の教職員を配置して実施されました。

「35人学級」については、これまで市民や教育関係者から強い要望がありました。市議会への請願が取り組まれたこともあります。

市民からは、「今まで難しかったのに、市長が変わつたら、本当に予算がついて実現できました。」

国・府の制度の改善が課題

市民からは、「今まで難しかったのに、市長が変わつたら、本当に予算がついて実現できました。」

同年は3クラスが2クラスになるので大変」が緩和されました。

保護者・市民の願いが実現 「嬉しいです」の声届く



発行 日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
(内線2399)
FAX : 824-776
NO. 2795

石本えりな
太秦元町9-2-203
090-8937-1934

太田とおる
高柳2-49-2
080-3818-9722

中林かずえ
宝町4-33
090-3944-8385

西田まさみ
石津中町30-3
090-9713-3588

前川なお
萱島東2-16-11
090-1025-7503

3月議会を終えて、
産前産後休暇に入つ
ていた前川なお市会
議員が、5月4日午
後10時過ぎに、33
00gの女の子を無
事出産しました。
みなさんから予定

日前後より、お問い合わせもいただいて
おりましたので、ご報告させていただきま
す。

寝屋川市議会では、
現職議員（女性議員）
が出産するのは初めて
です。よろしくお願ひしま
す。

前川議員が無事女の子を出産



みい診療所

(診療科目)

内科・整形外科・皮膚科
リハビリテーション科

572-0019 寝屋川市三井南町20-17

(TEL) 072-835-0600 (FAX) 072-835-4333

京阪香里園駅よりバスで三井バス停下車

てのことです。
今後とも、日本共
産党寝屋川市会議員
団5人が力を合わせ
て、市民福祉の向上
に頑張りますので、
よろしくお願ひしま
ました。

Oさんは毎週水曜
日のモーニング会に、
いつも大きな声で元気に話してくれます。
Oさんが、先日私にそつと教えてくれました。

7日夕方から、有志による試みとして「夕食会」が取り組まれました。モーニング会で、Oさんが提案して、毎月「うたごえ喫茶」でお借りしている「グリルぱーち」で開きました。

若葉町のKさんが、「何かあつたら車で送つてあげるから何でも言つてよ」と言ってくれるのがとても嬉しいと。Oさんの元気はKさんのおかげのようです。

**中林
かずえ**



無料低額診療所 市内では みい診療所

横浜市では、生活困窮者の「自立促進支援策」として、該当する市民に積極的に紹介しています。代表質問では、本市の生活困窮者の相談窓口や健康部、システム等の対応を

どで紹介することを提案しました。市の答弁は、「国民健康保険や生活困窮者自立支援の窓口において、相談内容をお聞きする中で案内等の対応を行う」でした。

3月議会の代表質問で「無料低額診療」について質問しました。無料低額診療とは、社会福祉法に基づき、医療が必要な人が、経済的な理由で受診

抑制がおきないよう、医療機関が無料、または低額で診療をおこなうものです。減免した医療費負担は、医療機関の持ち出しとなります。厚生労働省は「低

所得者」「要保護者」「ホームレス」「D被害者」などの生計困難者を対象としています。現在、府内に61カ所、寝屋川市内に1か所（みい診療所）

生活困窮の相談窓口などで市が積極的に紹介することを提案

あります。が、本市の利用者は少ないと聞きます。医療費に支払いが困難な市民が、一人でも多く利用できるようになります。

私道の非課税申請

前号での固定資産税の減免制度について今回は、私道の非課税申請についてです。

不特定多数が利用するなどの私道については、申請によって固定資産税が非課税になります。

非課税が認められれば5年間遡って固定資産税が還付されます。

申請先 市役所 固定資産税課